

○岐阜市教育大綱【基本方針】

・学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する。

○未来に向かって付けたい力

- ・進む少子高齢化、情報化
→夢をもち、自らの進路を切り拓く力
- ・既存の事象にとらわれず、自らの疑問を主体的に解決しようとする力
- ・人とのかかわりの中で創られる社会
→自他の相互理解…対話力

○目指す学校像

- ・どの生徒も、個人や所属する集団に誇りをもち、自他を尊重することができる学校
- ・保護者や地域から愛され、信頼される学校
- ・安全で安心な、誰にも居場所のある学校
- ・温かい空気が漂い、誰もが笑顔でいられる学校

○地域・生徒の実態

- ・多様な価値観と家庭環境
- ・地域への誇り・愛着（歴史と文化の継承）
- ・学習習慣の「二極化」
- ・学習への願いの強さ
- ・自己への期待感
（自己肯定感、粘り強さ、自己表出力）

○目指す生徒像

- ・主体的に自己の考えをもち、仲間と共に学び合うことで、確かな学力を身に付け、新しい見方や考え方を創り出そうとする生徒
- ・仲間（や地域の人々）と進んで対話し、分かり合い、認め合い、磨き合うことで、豊かな社会性を身に付け、よりよく生きようと鍛え合う生徒

○コミュニティ
スクール
推進校

○本年度の重点

①学習：「できた」「分かった」「楽しい」と実感できる授業

- ・「教科を学ぶ楽しさ」を味わい、主体的に学習に取り組む態度を培う。
- ・必然のある適切な学習課題を設け、生徒同士が考えや表現を交流し学び合い、生徒が主語になる授業づくりと、教科の本質に基づく教材観と確かな指導観を確立する。
- ・学びを深めていく学習活動を工夫することを通して、学ぶ意思を生み出し、仲間と学ぶことの喜びを体感させ、学習意欲を高める。（ロイロノート等の有効活用）
- ・生徒一人一人の学習状況を評価し、生徒に学びのよさや課題を伝えることで、学習への見通しをもたせ、学びの成果や、学ぶ意義を体感させる。
- ・表現のよさや違いに気付かせたり、価値付けたりすることで、思考力や表現力、判断力を高める。
- ・スタディサプリ等を個に応じて活用させ、家庭学習と授業をつなぎ、学習習慣と学力の定着を図る。

②学校・学級生活：「自分にはこんなよさがある」と思える自己肯定感の高揚

- ・願いや目標をもち、挑戦した事実をもとに、自己の可能性に気付かせ、自己有用感を育む。
- ・自ら生活を改善・創造する機会を位置付けることで、活力のある自主的・実践的な態度を育てる。

③生徒指導：「自分には（君には）こんなよさがある」と思える自己肯定感（相手を尊重する心）の高揚

- ・信頼と愛情を基盤とした生徒理解に徹し、生徒の自立・自律を目指す。
- ・生徒との対話を通じて、生徒の言動や心のよさを価値付けることで、自尊感情を醸成し、いじめの問題や問題行動の未然防止に努める。
- ・いじめの問題に対する認知力を高め、好ましい人間関係を育む。

④健康教育：自身の健康管理・安全管理と基本的な生活習慣づくり

- ・自分の健康・安全を自分で管理できる能力を育む。
- ・運動を通じて心身を鍛え、食育の啓発を通じて基本的な生活習慣づくりを行う。
- ・命・からだを大切にすることを育む。（がん教育、薬物乱用防止教室等）

⑤特別活動：課題解決に向けた話し合い、合意形成を図る資質、能力の育成

- ・学級活動や生徒会活動等の充実を図る中で、願いをもち、仲間と切磋琢磨しながら自主的、実践的に取り組むことができる生徒を育てる。

⑥道徳・人権教育：生命や自他を尊重する態度の育成

- ・生命や自他を尊重する態度を育て、温かい気持ちで思慮深い言動ができる生徒を育てる。
- ・自分のことと同じように他者のことも大切にできる生徒を育てる。

⑦特別支援教育

- ・自信をもち、自らのよさや可能性を伸ばす支援の工夫

⑧進路・総合・C S

- ・自己を見つめ、仲間の中で自己を生かす※「家庭で育ち、学校で学び、地域で鍛える」
- ・地域に対する誇りや愛着を育む。※「地域のために率先して貢献しようとする生徒」
- ・ボランティア活動に参加し、地域の方々との交流を通じて、自己有用感を高める。

『TEAM岐阜中央中』一枚岩となり、守る・育てる

- ◇自己研鑽に励み、謙虚に学び合う職員集団（協調・節度・礼儀・慮る）
- ◇人権感覚を磨き、生徒の変化に敏感に、いじめ・トラブルの予防、早期発見・素早い対応（報・連・相の徹底）
- ◇保護者との連携を密にし、迅速・丁寧・誠意ある対応に努める。（信頼感）
- ◇タイムマネジメントへの意識向上（教師のライフマネジメント）